

補助金支出に関し徹底した真相解明を

市長 そのような段階を踏んでいる。



田中次廣 議員

サテライトオフィス整備事業について

議員 エバーグリーンに対し9千万円返還訴訟中だが、証人尋問の証言ではお金は残っていないとのこと。お金が市に返還されない場合の対応は。

地域振興部長 裁判に勝訴し返還してもらうために、今取り組んでいる。

刑事告訴・告発について

議員 刑事告訴・告発するために弁護士と現在協議しているのか。

地域振興部長 刑事告発するほうで最終的な段階に

きている。

警察への被害届について

議員 エバーグリーンに振り込んだ9千万円が返還されていないことは、市が損失を受けていると思うが。

地域振興部長 南島原市が被害を受けていると認識している。

議員 刑事告訴・告発と並行して、まずは被害届を警察に提出すべきでは。

市長 市の公金が不適切に使われた事実に対し責任ある対応をとるべきと考えている。そのため法的に可能な手段を検討し返還に取り組んでいく。

議員 被害届をまず出していただきたい。そして、捜査の中で刑事事件として立証できることもあると思う。今回の問題は振り込んだ9千万円に相当する工事が施工されずに事業は頓挫している。また、お金がいろんなところに振り込まれているが、何の目的で誰の指示で振り込まれたのか。司法の手を借りないと調べることが

できない。なぜこのような状況に至ったのか。今後のためにも徹底した真相解明を行っていただきたい。

原城温泉真砂について

議員 平成11年、南有馬町の時に開設し、現在まで26年間、多くの皆さんに利用いただいており、なくてはならない真砂であったと思うが。

地域振興部長 市内でのイベント、観光客の受け入れなど大変重要な役割を果たしてきたと思っている。26年間の内、令和3、4、5年の3年間はコロナの影響で市から指定管理料を支払ったが、それ以外は1億8,200万円という寄附金を旧南有馬町、南島原市に頂いている。市から支出をした指定管理料を差し引いても、十分プラスの経営となっている。



原城温泉真砂



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

農林水産部長 5haから圃場整備ができる事業があるが要件が厳しい。

市道の管理について

議員 市道の管理はどのようにになっているのか。

建設部長 令和7年4月に維持管理計画を策定し運用している。内容は道路巡回の頻度、清掃、除草作業等の作業項目、道路施設の点検などである。

議員 通行の妨げになる竹や木の管理を継続して行ってほしい。



通行の妨げになる木の状況

南島原市の中期財政見通しについて

総務部長 5年度、6年度だけで見ると、計画よりはよい。



林田久富 議員

農業振興について

議員 米不足について南島原市の生産者の現状と今後の対策は。

市長 市内には水田が1,630haある。令和6年度の作付調査による本市の水稲栽培面積は約519haである。対策については、現在取り組んでいる水田活用の直接支払交付金等による支援を行いながら、今後見込まれる水田政策の根本的な見直しについて、新たな制度等の活用を含め、農業者へ情報提供を行なう。

公共施設オンライン予約導入は

教育次長 今年度中には運用開始ができるようになると考えている。



松本添花 議員

部活動の地域クラブ化について

議員 今後クラブ化を検討されている競技は。

教育次長 柔道、剣道、空手、陸上、バレーボール、バスケットボール。

議員 地域クラブ定着後の将来的なビジョンは。

教育長 サポートセンターを中心に、学校だけでなく学校外の社会教育を充実させることで、児童生徒や地域の方、教職員が生き生きとスポーツ、文化活動に取り組むことができ、不登校支援や障害を持った子供も今より

サテライトオフィス整備事業について

議員 第三者委員会の進捗状況・裁判の状況を踏まえた市長の考えを尋ねる。

市長 公金の適切な執行に努める義務があること、今回の事件についての責任を重く受け止めている。市の公金が不適切に使われたこの事実に対して、責任ある対応を取らなければならぬと考えている。

道路について

議員 島原半島の西回りルート、口之津・小浜の進捗状況について尋ねる。

市長 島原半島南部地域の幹線道路の早期実現に向けて要望活動を行っている。国・県、そして半島3市で構成する島原半島地域幹線道路網に関する検討会の中で、島原半島西回り道路を含めて協議、検討を今行っている。



国道251号(赤間~権田間)被災状況



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

手厚い支援を受けることができるようになる。将来的なまちづくりに繋がっていくと思いい、この地域展開を大きなチャンスと捉え、さらなる充実を図り、本市の魅力を最大限に発信していきたい。

公共施設予約システムについて

議員 オンライン予約の場合、スマホなどに不慣れな方への対応は。

教育次長 従来どおりの方法でも引き続きやっていく。

そつめん振興について

議員 製造業者数と生産量の推移について。

地域振興部長 最盛期の昭和61年度が450事業所、令和6年度は222事業所。生産量は昭和61年度が1万5,903t、令和6年度は1万181t。

議員 若手後継者や新規参入者を増やす育成支援は。



7月3日のそつめん給食

地域振興部長 就業後3年間交付する後継者給付金、また定期的にアンケート

て、今の状況、今後の方針について尋ねる。

豪雨対策について

議員 加津佐津吹湖の今後の対策について尋ねる。

建設部長 5月末に入札を行い、契約を済ませて現地業務へ入る準備を現在進めている。今後は、調査結果を基に浸水対策案を作成していく。

議員 関係機関や住民との連携による継続的な支援が必要であると考えるが、戦略的かつ実効性のある振興施策を進めてほしい。市長の見解は。

市長 島原手延べそつめんは本市の代表的な特産品。これまでの取組により認知度は大変向上しているが、担い手不足や高齢化などの課題がある。今後も引き続き課題解決に向けて積極的に取り組み、そつめん産業の振興を図っていきたい。

地域振興策定での問題は

農林水産部長 後継者、担い手の減少が大きな問題。



永池充宏 議員

農業振興について

議員 令和6年度に地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)が策定されたが、目的とメリットは。

市長 本市の農業の10年後の在り方等の計画書と農地の利用状況を示した地図を策定したもの。メリットとしては区域内での補助事業が受けやすくなっている。

議員 本市で策定された地域計画の内容は。

農林水産部長 市内25の地域で策定した。地域の農業の将来の在り方、現状

議員 農地中間管理機構関連の事業で小規模基盤整備など活用する手立てはないのか。



通行の妨げになる木の状況

議員 若手後継者や新規参入者を増やす育成支援は。

地域振興部長 就業後3年間交付する後継者給付金、また定期的にアンケート



7月3日のそつめん給食

地域振興部長 就業後3年間交付する後継者給付金、また定期的にアンケート